

「元氣・神戸」「元氣・ながた」へ一緒に、真剣に。

今、地方議会のあり方が問われています。

仕事をしない、名誉職におさまりかえっているというのが世間の地方議員に対するイメージ。

定数や報酬など議会の待遇を見直すことは必要であり、議員の保身は許されません。

一方で、行政改革を求めるなら、議会が強力に仕事を果たすしかありません。

行政は市民の不満の情報収集を仕事にしていません。何が我々の街に必要なか、声を届けるのも議員が果たすべき大切な仕事です。

政治不信と無関心が蔓延してはいますが、「地方議員になるためには」というマニュアル本が売られるほど、地方議員は誰でも挑戦可能な仕事となっています。

「今の議員にまかせておけないなら、神戸が好きな自分が挑戦しよう」という想いが私の原点です。

震災後、巨大再開発を経験した地元長田区に山積する問題。これまでは先送りにされてきましたが、長期的な街の活力維持のため、今真剣に取りくむ時です。

想いを共に、神戸市政を動かすためにお力をお与え下さい。よろしく願います。



【後援会討議資料】
発行/平井まち子事務所
長田区御屋敷通6-1-11

まちこ
PRESS

VOL.19 2011年春

今度こそ！
突破力で拓く
神戸の未来！



自民党

前神戸市会議員(長田区選出)

平井 まち子